

Sorbact ジェルドレッシング

再使用禁止

【警告】

明らかな臨床的創感染を有する患者には慎重に使用すること。[感染を悪化するおそれがある。臨床的創感染を有する患者であっても感染に対する薬剤治療や全身・局所管理をしながら創傷被覆材を併用することが有益と医師が判断する場合には、局所の観察を十分に行ない、慎重に使用すること。]

**

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

- (1) 再使用禁止。
- (2) 再滅菌禁止

2. 適用対象(患者)

本品の成分に対して過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

**【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は、緑色をした DACC 添加アセテート織布と水性ゲルからなる創傷被覆・保護材で、創傷に水分を与え湿潤環境を保ち、自己融解デブリドマンを促進する。

2. 形状及び構造



3. 原理

本品は、創傷治癒を促進する湿潤環境を維持する。又、本品は清浄創、感染に移行しそうな創、汚染された創又は感染創を含む、すべてのタイプの創傷における滲出液中の黄色ブドウ球菌 (MRSA を含む)、レンサ球菌、大腸菌、緑膿菌及びカンジダアルビカンスなどの微生物を結合する。本品に結合されたこれらの微生物は、ドレッシング交換によって創傷から除去されるため、創傷部位の微生物負荷の低減が期待される。

4. 原材料

DACC 添加セルロースアセテート、水性ゲル(カルボキシビニルポリマー、プロピレングリコール)

【使用目的又は効果】

皮下脂肪組織までの創傷(Ⅲ度熱傷を除く。)に対する「創傷の保護」、「湿潤環境の維持」、「治癒の促進」、「疼痛の軽減」を目的とする。

**【使用方法等】

- (1) 必要に応じて創部・患部を消毒後、生理食塩水等で洗浄する。本品の交換を行う場合も同様である。
- (2) 適切なサイズの本品を選ぶ。
- (3) 本品を滅菌袋から無菌的に取り出す。
- (4) 本品が直接創部表面を被覆するように適用する。その際、創周囲の皮膚まで本品を被覆しないように注意すること。深い創傷には過密にならないように充填する。
- (5) 本品を滲出液量に適した保湿性二次ドレッシングで固定する。

- (6) 本品の交換頻度は、創、周辺皮膚、滲出液の状態にもよるが、7日間を限度とし新しいものと交換する。

**【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 5 歳未満の小児および肝および腎臓病に罹患している患者は、本品に含まれるプロピレングリコールの代謝能力が限られているため、適用する際には注意が必要である。[プロピレングリコールを含む他の製品と同時に使用した場合、高浸透圧血症や代謝性アシドーシス等の有害事象が発生するおそれがある。]
- (2) 本品の疎水性相互作用による効果を十分に得るため、本品が創傷面に直接接触するように貼付すること。
- (3) 本品を取り除く際に、創傷面が乾燥又は固着している場合は、創傷治癒を阻害しないよう、創傷面を濡らして取り除くこと。
- (4) 創周囲の皮膚の浸軟を避けるために、本品を創傷の縁に適用しないこと。
- (5) 本品には X 線不透過マーカーがないため、本品を体内で使用しないこと。
- (6) 放射線療法を実施する際は、本品を取り除くこと。
- (7) 本品の効果を減弱させるおそれがあるため、本品を油性軟膏、クリーム、酸化剤や疎水性液体(創傷クレンジャー、過酸化水素水)と併用しないこと。
- (8) 十分な観察の元に使用し、30 日を越える長期使用は避けること。
- (9) 使用前に包装が破損や開封されていないことを確認し、破損や開封が認められた場合は、無菌性が保証されないため使用しないこと。

2. 不具合・有害事象

一般的な創傷被覆・保護材の使用における「不具合・有害事象」

- ・創の感染症状
- ・創傷及び周囲の皮膚障害(表皮剥離、浸軟、浮腫、水泡、発赤、びらん、掻痒、アレルギー、接触性皮膚炎)
- ・固着
- ・壊死組織の増加
- ・疼痛

3. その他の注意

- (1) 本品を貼付したままで MR 検査を受けることが可能である。
- (2) 本品は必要に応じて切って使用することもできるが、残りは未使用であっても廃棄すること。

**【保管方法及び有効期間等】

直射日光及び湿気を避け保管すること。

有効期間はパッケージに表示(自己認証データによる)。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

選任製造販売業者: センチュリーメディカル株式会社

電話番号: 03-3491-2064

外国製造業者: アビーゴメディカル社

(ABIGO Medical AB)

国名: スウェーデン